

1月8日待ちに待った修学旅行です。朝5時45分集合といこと

とでまだ暗い中バスに乗り込み、予定通りの出席者で5分早く出発。伊丹空港にも余裕を持って到着し、今回お世話になる添乗員の方の紹介をし、搭乗ゲートに向かいました。手荷物検査場では入口が2か所しかなかったためかなりの混雑を極めました。トラブもなく順調に通過しましたが、昨年度は無かった踝が隠れる靴はスリッパに履き替える必要があり、チェック項目は少しずつ変わっているようです。搭乗ゲート前では飛行機に乗り込む際の注意をクラスごとに行い、速やかな乗り込みができるように準備。日曜日ということもあり混雑も予想していたのですが、それほどの混雑はなく、無事飛行機に乗り込むことができました。離陸の際には歓声上がるなど飛行機慣れをしていない生徒たちは大喜び。機内でも大きな声を出して話をする事もなく、外の景色を楽しみながら2時間弱のフライトとなりました。新千歳空港にも無事到着。かなり順調にきており、天気も良く、札幌市内には予定より1時間早く到着することになりました。北海道でのバスは、1台に20人程度となり、12台の大編成。私も久しぶりに点呼を取るなど職員全員が分乗して



の移動となりました。15時15分までの札幌市内班別研修となり、思い思いに出発しました。テレビ塔の展望台

に上がっている生徒もいるかと思い、上がって見たのですが誰にも出会わず少し拍子抜け。しかしながら天気良かったので、倉山ジャンプ台まではっきりと見えました。15時前後になると生徒たちも集まり始め、ジンギスカンのゆるキャラくんの見送りを受け、札幌市内を出発。ホテルに向かいました。バスの中で注意事項を聞き、ホテルに到着すると今年は外国人客が多く、またホテルの大きさに驚きました。荷物を部屋に入れて靴合わせ。履きなれない靴のため、悪戦苦闘しながらサイズ合わせをしました。ボードの靴交換が多かったようでした。その後は食事です。ビュッフェスタイルでトングを持つ手に手袋をはめて好きなものをとっていきます。食事スタイルは向かい合うことなく講義形式でした。それでも和気あいあいと食事を楽しむ姿に何とか良いスタートが切れて良かったと思いました。この後は部屋で休んで、明日に備えました。1日目移動が多く大変でしたが、元気に過ごすことができました。





1月9日修学旅行2日目。昨日の点呼時に体調のすぐれなかった生徒も元気を取り戻し、朝の健康チェックで乾燥から声がガラガラする生徒もいましたが、体温、他の症状ともに問題なく朝食をとり、実習準備を整えて実習出発チェックを受け、カードキーを預けてゲレンデに出発。本部ではすべての連絡をホワイトボードに記載し、生徒たちは自分たちでその内容を確認して自主的に行動するようにしています。ほとんどが葉に記載されている内容ですが、追加されるものもありますので、生徒たちが時間を有効に活用できるような工夫をされていました。ゲレンデに到着したクラスから集合写真を撮り、開

校式です。開校式ではスキー学校の方からも歓迎の挨拶があり、生徒代表1組荒木さんが思いのこもった挨拶を述べて終了。スキーもスノーボードも経験者班と初級者班に分かれてインストラクターの指示で靴の履き

方、ボードやスキー板の運び方など基礎的なことを確認し、班ごとに場所を確保して準備運動から実習が始まりました。近くには羊やポニーが飼われており、見守られながらの実習でした。早い班は滑りをチェックしてリフトに乗り、コースの方に出ていっていました。私の部屋からも生徒たちの実習は良く見ることができ、ボード班は何度も何度も転びながら滑る感覚を身につけていました。午前の実習が終われば、インストラクターと食事を共にします。ゲレンデの食堂で班ごとに食券(1100円分・不足分はその場で支払い)を利用した食事です。インストラクターとの交流もさぞかし楽しめたことでしょう。午後からは雪が舞う中での実習でしたが、元気に頑張ってきたようでした。帰着時には点呼を受けボードの連絡事項を確認。ここでは、実習中の写真撮影をスマホでOKとしていたので、そのまま書かれている内容を写して各部屋で連絡をしていました。慣れない靴を履いて実習をしたことで足の痛みを訴える生徒や鼻血を出した生徒はいたようですが、大きな事故もなく



実習1日目は終了しました。そしてその晩は全体レクリエーションが体育館でありますので、実習後はお風呂等に入り準備。夕食も元気に食べており、一安心といったところでした。体育館は昼に下見をしたときに生徒の誘導路を確認し、職員を配置。時間どおりに集合し、修学旅行委員企画による全体レクリエーションの幕開けです。昨年はホテル移動の関係でできなかったのが、3年ぶりとなります。今回は3つのゲームが用意されていました。①椅子取りゲーム②尻尾取りゲーム③ジェスチャーゲームです。椅子取りゲームは25人15脚からスタート。10脚、7脚、5脚3脚と減り、最後は1つを3人で競います。男子では最後は椅子の奪い合いの様相を呈していました。男子は2組斎藤君、女子は7組矢野さんが優勝し、インタビューを受けました。次はナイロンテープをお尻から垂らし取ら



れたら負けのゲームです。これは動きが早すぎて写真がブレたものしかなく、なかなか伝わり難いのですが、ブレた写真の中に必死さが伝わると思い掲載しました。ジェスチャーゲームは、比較的穏やかに始まったのですが、佳境に入るとクラス全体で必死に応援しながらやっていて、一体感がありました。何とか時間内に終了することができてエンディング。ここではサプライズが待っていました。原田先生がつかつかと前に出てきて生徒に注意をはじめ、生徒の名前を呼び前に来させました。生徒たちも先ほどまでの楽しかった雰囲気が吹き飛び、固唾を飲んで呼びだされた生徒を見守っています。



唯一男子の斎藤君は先ほどの頑張りをほめられるでもなく緊張感を味わい、女子5人に移りました。そこで流れてきた音楽は……。「ハッピーバースデー」でした。この修学旅行期間前後に誕生日を迎えた生徒たちにバースデーケーキのプレゼントです。



中島先生がロウソクに火のついたケーキを運んできて、5人で火を消しました。素晴らしいサプライズでしたが、呼ばれた女子5人は悲壮感漂う表情から一転して喜びの表情に。全体レクリエーションの終了です。企画運営にあたった旅行委員の皆さんお疲れ様でした。和やかな雰囲気で2日目を

終了しました。



1月10日、学校では始業式が行われていますが、修学旅行は3日目、昨日の全体レクリエーションの疲れも見せず、元気に実習に向かいました。私は見学班を見に行きました。昨日はクマ牧場で見学をしたそうですが、10日はホテル内での体験に臨みました。午前中はロウソク作り。カラフルな色のロウを組み合わせると4つのロウソクを作成しました。熱したロウを流し込む作業は緊張感が高まっていました。型に入れて作るため出来上がりが予想できません。最初の型を外した瞬間、思った以上のきれいな仕上がりに生徒たちも喜んでいました。最後は4名の参加者で作品とともに記念撮影。またこの日はスキー実習開始時には吹雪いていたのですが、午前実



習後半には晴れ間も見え、綺麗な山並みを見ることができました。見学班の午後はガラス細工にチャレンジしました。ガラスのコップやガラス皿に針でひっかいて模様をつけていくエッチング作業です。1時間以上もかけて細かな模様をそれぞれが選んだガラス皿やコップにつけていました。出来栄も非



常に良かったです。スキーとスノーボードの実習はホテル前のゲレンデだけでなく、向かい側のゲレンデで行われ、のびのびと滑ってきたようです。閉校式前に滑走してくる様子を写真におさめることができました。最高の雪質でかなり上達してきたように感じました。最初は不安そうだった顔も、笑顔一杯になって戻ってきていました。閉校式の挨拶でも言いましたが、北海道の他の地域では警報が出ているところもある中、天候に恵まれ素晴らしい実習ができたと思います。指導員の皆さん、ありがとうございました。閉校式では2組の小島君が感謝の言葉を述べてくれました。その後のナイター実習は希望者だけでホテル前のゲレンデ1本で滑走しました。ボードの希望者は圧倒的に多く、よほど楽しかったことが伺えました。日没後、18時まで楽しんだ生徒もいたようで、その体力に驚くばかりです。しっかり休んで最終日の小樽観光の班別学習に臨んでほしいと思い、3日目を終了しました。



1月11日修学旅行最終日は小樽研修です。昨日札幌小樽間が大雪のため列車も高速道路も止まっております心配されましたが、天気は回復傾向で気温が上がるとの予報で少し安心。しかしながら大雪の影響が残っており、ルスツから小樽に向かう道路は3方法あるうちの2方法が通行止め。高速に乗ったり、峠を越えて行ったりすることなく下道の国道で海岸線を通って小樽に向かうことになりました。生徒たちの動きは良く、部屋の点検も速やかに終了し、トラックに送る荷物を積み込み30分早くホテルを出発。海岸線に出ると青空と海と雪がとてもきれいにマッチしていました。小樽到着後はすぐにクラス写真。バスも時間差で到着したのでスムーズに写真を撮ることができました。また、写真を撮った後、研修に向かう際に歩道を歩いたのですが、その雪の量に驚きました。おそらく生徒たちも経験のない雪の量だったと思います。一日ずれていてよかったと思えました。生徒たちは雪道を歩き慣れていないこともあり、またこの日の道路状況は踏み固められて凍ったところが多くよく転んでいました。幸いケガはなかったようなので良かったです。お土産選びやスイーツ、海鮮丼など食事選びなど大いに楽しんだようでした。とても良い笑顔を見ることができ、こちらまで幸せな気持ちになりました。班別研修が終了後はバスに集合し、一路新千歳空港に向かいます。空港では、4日間お世話になった看護師さん2名にお礼を述べ、飛行機に乗り込みました。看護師さんは養護教諭の菅野先生とともに生徒の不安を和らげ元気づけてくれました。生徒たちが最終日まで元気に活動できたのも3名のおかげです。本当にありがとうございました。少し疲れの見える生徒もいましたが、無事飛行機に乗り込むことができ、伊丹空港に向かいました。到着後は解団式で私と岡元主任から「多くの方々の協力のもと参加者全員で行って帰ってくる事ができた。生徒の協力は勿論、先生方、旅行社、北海道でお世話になった看護師さん、インストラクターの方、ホテルの



検も速やかに終了し、トラックに送る荷物を積み込み30分早くホテルを出発。海岸線に出ると青空と海と雪がとてもきれいにマッチしていました。小樽到着後はすぐにクラス写真。バスも時間差で到着したのでスムーズに写真を撮ることができました。また、写真を撮った後、研修に向かう際に歩道を歩いたのですが、その雪の量に驚きました。おそらく生徒たちも経験のない雪の量だったと思います。一日ずれていてよかったと思えました。生徒たちは雪道を歩き慣れていないこともあり、またこの日の道路状況は踏み固められて凍ったところが多くよく転んでいました。幸いケガはなかったようなので良かったです。お土産選びやスイーツ、海鮮丼など食事選びなど大いに楽しんだようでした。とても良い笑顔を見ることができ、こちらまで幸せな気持ちになりました。班別研修が終了後はバスに集合し、一路新千歳空港に向かいます。空港では、4日間お世話になった看護師さん2名にお礼を述べ、飛行機に乗り込みました。看護師さんは養護教諭の菅野先生とともに生徒の不安を和らげ元



気づけてくれました。生徒たちが最終日まで元気に活動できたのも3名のおかげです。本当にありがとうございました。少し疲れの見える生徒もいましたが、無事飛行機に乗り込むことができ、伊丹空港に向かいました。到着後は解団式で私と岡元主任から「多くの方々の協力のもと参加者全員で行って帰ってくる事ができた。生徒の協力は勿論、先生方、旅行社、北海道でお世話になった看護師さん、インストラクターの方、ホテルの

方々、そして送り出してくれた保護者への感謝の気持ちを忘れず、明日以降次に向かってスタートしてほしい」と話をしました。旅行委員長の4組田中君が生徒代表挨拶の中にも感謝の気持ちが表れており、ここまでは大成功の修学旅行となりました。最後にお世話になったJTBの方々から挨拶をいた



だき解団式を終了。学校に向かいました。学校では、多くの先生方が保護者の迎いの車の整理にあたっていただき、到着したバスから順に保護者への引き渡しも終了。バス内での今後の日程等の連絡を受け生徒たちは帰路につきました

天候にも恵まれ多くの方々のご協力で修学旅行は無事終了。大きな行事を終え安堵感がありますが、新型コロナ感染、インフルエンザと体調管理に気を付けないと今回の成果を活かしていくことはできません。行事の終わりは次のスタートでもありますので気持ちを切り替えて頑張っていきましょう。学年団の先生方お疲れ様でした。



また出発時、帰校時にお手伝いいただいた先生方ありがとうございました。以上で修学旅行の報告とします。(久語先生に本校HPに学校ブログとして修学旅行の様子を細かに掲載していただいていますので、そちらもご覧になってください。)